

Management

CEOメッセージ

Chief Sustainability Officer メッセージ

日立グループ・アイデンティティ

サステナビリティ・マネジメント

エンゲージメントおよびイニシアティブ参画

社外からの評価

エンゲージメントおよびイニシアティブ参画

GRI 2-28

ステークホルダーエンゲージメント

考え方

活動・実績

GRI 2-29

社会イノベーション事業を推進する日立は、さまざまな国・地域の社会課題を的確に捉え、お客さまをはじめ、政府・自治体、学術団体・研究機関など多様なステークホルダーとの協創による課題解決に取り組んでいます。また、重要な経営資源である人的資本の価値向上をめざし、従業員と経営層との直接対話を推進しています。さらに、昨今のESG投資の拡大を受け、株主・投資家との対話も積極的に行っています。

 ステークホルダーとの対話

<https://www.hitachi.co.jp/IR/corporate/governance/dialogue/index.html>

 ディスクロージャー・ポリシー

<https://www.hitachi.co.jp/IR/corporate/disclosure/index.html>

 マルチステークホルダー方針

<https://www.hitachi.co.jp/information/info/20230420.html>

サステナビリティリーダーシップ

考え方

活動・実績

日立は、グローバルな視点で、多様なイニシアティブや組織とともにサステナブルな社会の実現に資するルールづくりを推進し、社会課題の解決に貢献しています。

産業界におけるリーダーシップと政策提言

社会イノベーション事業をグローバルに展開する日立は、各国・地域の政府や民間団体を重要なパートナーと考え、グローバル渉外統括本部を中心に関係強化に努めています。国内外の各拠点と連携し、各国政府や国際機関への対応を通じて、地域との共生を図ると同時に、各地の社会課題や政策から事業機会の発掘、価値創造に取り組んでいます。

また、政府機関から意見を求められる機会も増えており、要請に直接応えるほか、経済団体・業界団体での議論を通じて提言を行い、より良い社会の実現に貢献しています。

 産業界におけるリーダーシップと政策提言

<http://www.hitachi.co.jp/sustainability/leadership/index.html#anc02>

国際標準化活動における取り組み

日立は、国際標準化活動を「サステナブルな社会を実現するために必要となる国際的なルールを定義する活動の一つ」であると考えています。国際標準は、多様なステークホルダーからの専門分野を代表するメンバーによる、公正な議論と国際的な合意によって明文化された規格や基準として定義されます。

そのため、日立は、グローバルな視点で社会課題の解決に取り組み、世界中の国・地域の政府・自治体、学術団体・研究機関、企業、NGO・NPO、ユーザーなど多様なステークホルダーとともに新たな社会規範(ルール)を協創し、社会イノベーション事業を通してサステナブルな社会の実現に貢献します。

また、国際標準化を研究開発や知的財産と並ぶ重要な活動と位置づけ、IEC*1、ISO*2、ITU-T*3の国際標準化機関での標準化活動をはじめ、世界の各地域や各産業分野で設立されたコンソーシアムへも積極的に参画しています。

さらに、サーキュラーエコノミー(ISO/TC*4 323)や電気・電子機器・システムの環境対応(IEC/TC 111)、スマート都市インフラ(ISO/TC 268/SC*5 1)、無人航空機システム(ISO/TC 20/SC 16)などの多くの分野で国際標準化活動に取り組んでいます。これらの国際標準化活動を通して、国際標準に適合したソリューションを提供することにより、健全なグローバル市場の発展を支え、社会課題を解決するイノベーションを実現していきます。

*1 IEC : International Electrotechnical Commission 国際電気標準会議の略称。加盟各国・地域により構成される国際機関

*2 ISO : International Organization for Standardization 国際標準化機構の略称。加盟各国・地域により構成される国際機関

*3 ITU-T : International Telecommunication Union - Telecommunication Standardization Sector 国際電気通信連合 電気通信標準化部門の略称。国連の専門機関

*4 TC : Technical Committee 技術委員会の略称

*5 SC : Sub Committee 小委員会の略称

 国際標準化活動における取り組み

<http://www.hitachi.co.jp/sustainability/leadership/index.html#anc03>

Management

CEOメッセージ

Chief Sustainability Officer メッセージ

日立グループ・アイデンティティ

サステナビリティ・マネジメント

▶ **エンゲージメントおよびイニシアティブ参画**

社外からの評価

参画している主なイニシアティブ・団体

日立は、「優れた自主技術・製品の開発を通じて社会に貢献する」という企業理念のもと、サステナブルな社会の実現をめざし、社会イノベーション事業を推進しています。その一環として、グローバル規模の社会課題の解決に貢献すべく、国際的なイニシアティブや団体に積極的に参画し、グローバル企業としての役割を果たしてまいります。

イニシアティブ・団体名	活動内容	
国連グローバル・コンパクト(UNGC)	2009年に加盟 2022年度はグローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン(GCNJ)の「ESG分科会」「SDGs分科会」「WEPs(女性のエンパワーメント原則)分科会」など10の分科会に参加	
持続可能な発展のための世界経済人会議(WBCSD)	1995年から参加 2020年から「SOS 1.5」プロジェクトに参加	
Business for Social Responsibility (BSR)	2007年に入会 2016年から人権分科会に参加	
世界経済フォーラム	2014年からダボス会議に参加	—
気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)	2018年に賛同を表明し、TCFDの提言に沿って気候変動関連の情報開示を実施	

イニシアティブ・団体名	活動内容	
気候変動イニシアティブ(JCI)	2018年から参加 2021年に発足したJCI Race to Zero Circleにも参加	
Science Based Targets イニシアティブ(SBTi)	2020年に「1.5℃目標」認定	
Business Ambition for 1.5℃	2020年にSBT1.5℃認定と併せて参加	
Race To Zero Campaign	2020年にBusiness Ambition for 1.5℃への参加を通じて参加	
The Valuable 500	2021年に加盟	
一般社団法人 ESG情報開示研究会	発起人、立ち上げメンバーとして2020年より参画	

 参画している主なイニシアティブ・団体

<http://www.hitachi.co.jp/sustainability/leadership/index.html#anc01>